

腫瘍・血液内科 ～Department of Oncology and Hematology～

腫瘍内科 = がんを診る総合診療科

悪性腫瘍の患者さんは日々増加し、日本にはおいては2人に1人ががんに罹患するといわれています。殺細胞性抗がん薬のみでなく、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬など薬物療法も進化し、治療法の選択や副作用のコントロールも複雑となっており、**悪性腫瘍を臓器横断的に診療する専門科**として腫瘍内科が誕生しました。

複数臓器に対する総合内科的な観点やオンコロジーエマージェンシーなどの救急対応など、広く全身を見る力が身につきます。がん診療のコーディネーターとして、がん薬物療法のチーム作りの担い手として、**がん患者さんを支えるスタッフの中心として活躍**ができます。



認定施設
日本臨床腫瘍学会
認定研修施設
(連携施設)
日本血液学会
研修教育施設

血液内科 ≠ 血液疾患を診る診療科

血液・リンパ液は全身を巡り、どこにでも病巣を作ります。また、化学療法による臓器障害、体液・電解質異常、感染症が多く起こるため、診察の仕方、検査の解釈、鑑別疾患の挙げ方、FNを始めとした合併症への対処法など、**診療科を問わず幅広く全身を診る力**をトレーニングできます。

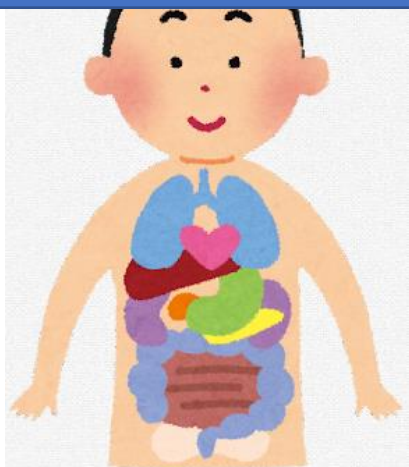
血液内科 = やりがいのある診療科

老若男女を問わず、いつ、どんなに健康だった方でも突然生命に関わる疾患が起こる診療科ですが、**血液疾患を診られるのは血液内科医だけ**です。一緒に血液疾患を診療して、**治癒した時の喜び**を患者さんと共有してもらいたいです。

はり姫の腫瘍内科の研修の特徴

姫路で腫瘍内科が独立して存在するのははり姫が初めてで、がん薬物療法専門医・指導医が3人在籍しているのも姫路で最多です。

総合病院での腫瘍内科では、複数のがん腫を担当し、幅広く最新の知識を有することが求められ、**症例豊富**なはり姫は最適です。



はり姫の血液内科の研修の特徴

豊富な症例数で、良性・悪性疾患を幅広く診療できます。また、骨髓検査、CVカテーテル留置、腰椎穿刺などの**手技も豊富**です。J-OSLERや専門医取得、学会発表、論文執筆などの**学術面のサポート**はもちろん、血液内科医って実際どうなの？プライベートの両立は？育児や出産との両立は？といった**キャリアプラン**の相談もドシドシ受け付けます。